

# 優秀賞



設計担当者

## 杉山友和

北海道建築士会、一級建築士事務所 アーカイヴ

戸建住宅(専用) | 北海道札幌市

### 北光の家

構造 | 木造軸組在来工法

階数 | 地上3階

敷地面積 | 86.54㎡

建築面積 | 50.32㎡

延べ面積 | 104.41㎡

竣工 | 平成28年3月14日



## 選評

札幌駅に近い中心市街地に建つ木造3階建ての戸建住宅である。間口の狭い東西に細長い敷地で、西側が前面道路に面している。小さな仕事場を備えた若い建築家夫婦と子ども2人の住まいである。

間口3.2m、奥行16.28mの東西に細長い平面の2階西端に、壁に囲まれた半室内テラスを設け、その下を屋根付きの駐車場としている。さらに、3階の東端にも屋外テラスを設けることによって、天空からの自然採光を得ている。構造は在来木造で、東西の長辺方向は、外壁を構造用合板張りの耐力壁として仕上げを兼ねている。短辺方向は、建物の中心を上下に貫通する3層分の吹抜の4隅に立てた柱の間や、半屋外テラスに面した窓の内側に鉄筋の交差ブレースを挿入して耐力壁とし、これによって東西

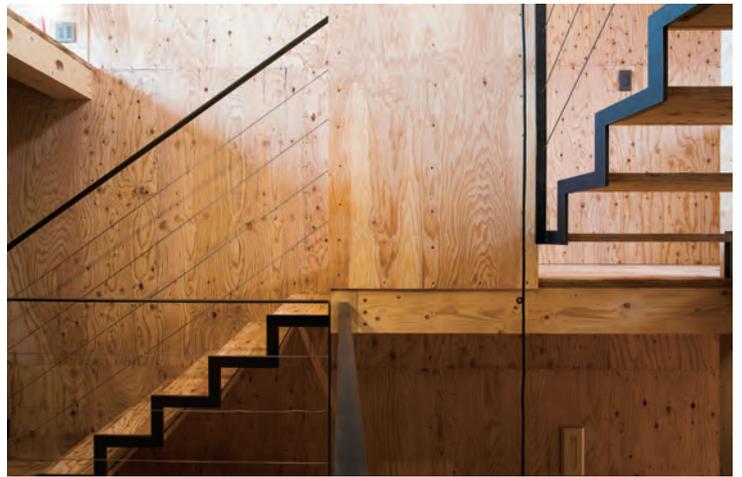
に細長い空間を柔らかく仕切っている。さらに、各階を結ぶ階段を3層吹抜け空間の周囲に絡ませることによって、吹抜けによって分割された東西の空間を、スキップフロアによってダイナミックに結びつけている。内部仕上げは天井、壁、床面すべてを針葉樹合板で統一している。

複雑で立体的な内部空間に比べると、外観は極めて単純な箱型のデザインである。十分な断熱性と防火性を備えた下地の上に、外壁全面に0.8mm厚の高耐蝕メッキ鋼板の重ね張り仕上げとすることによって、単純な形態にメタリックな表情を与えている。

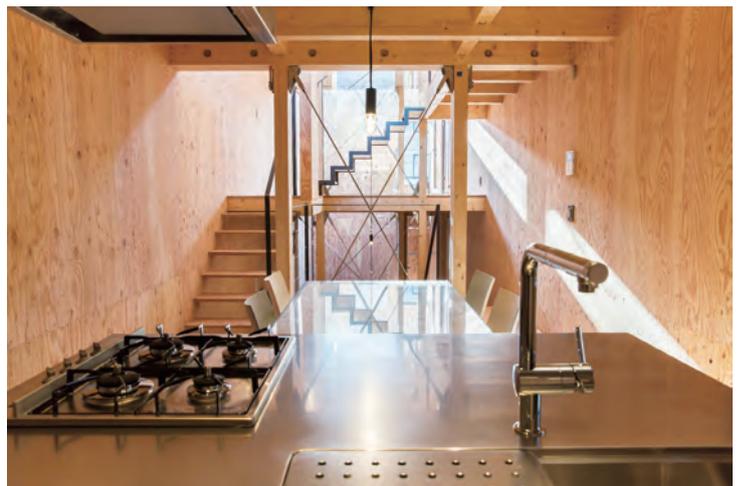
ローコストを徹底的に追求した町屋タイプの原型的なデザインは高く評価できる。しかしながら、街に対してやや自閉的なデザインである点が画龍点睛を欠くといわざるを得ない。(難波和彦)



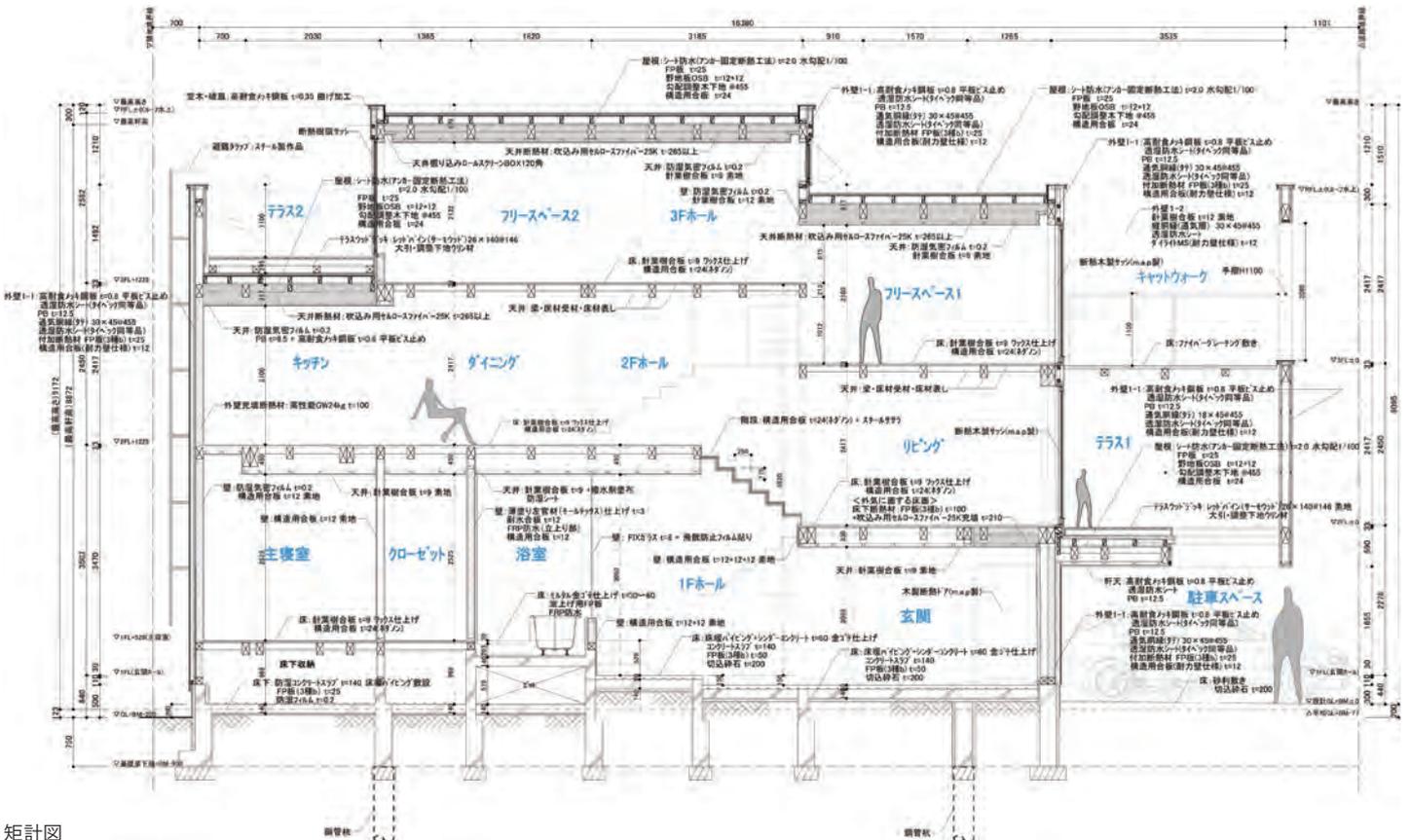
2



3



4



矩計図

1 前面道路から見る

2 リビングから1階ホール・2階ホールの2層を見る

3 吹抜けを結ぶ階段。内部仕上げは針葉樹合板で統一

4 キッチンからダイニングを見る

写真1・3…古瀬 桂

写真2・4…佐藤アキラ